

令和7年6月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
6/19 1 番	中 原 緑	1 川根本町における公共交通について 2 これからの大井川流域観光について	町長 町長
6/19 2 番	野 口 直 次	1 合併 20 年を迎え、町の当面の課題について伺う	町長
6/19 3 番	大 竹 勝 子	1 介護保険事業について 2 工事請負契約のあり方について 3 大井川鐵道の復旧について	町長 町長 町長
6/20 1 番	中 澤 莊 也	1 障がい者の生活の自立、就労支援について 2 エコツーリズムの推進について 3 町長の描くまちの将来像について	町長 町長 町長
6/20 2 番	佐々木直也	1 「地域おこし協力隊」について 2 「川根本町のお茶」の関係人口の増加策について	町長 町長・教育長
6/20 3 番	澤 西 省 司	1 公共施設の老朽化による解体費用に関する行政の取り組みについて 2 現存する公共施設の老朽化に対して、リノベーション・改修・建替え・解体などに対応するための特定目的基金の設置の必要性について	町長 町長

※議員の質問の制限時間は、1 回につき 30 分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

6月19日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 川根本町における公共交通について	(1) 町の第2次総合計画では施策に“快適に安心して利用できる交通体系の整備”がある。また、観光資源を活かした地域振興の観点からも、公共交通の充実が重要な課題となっており、特に3年近く大井川鐵道が一部運休する中、令和10年度の全線復旧を見据え、社会経済情勢の変化に対応した地域公共交通のマスタープランが求められる。令和6年度当初予算に業務委託費が計上された「地域公共交通計画」策定の進捗について伺う。 (2) 地域公共交通の課題の中で、タクシーなどのドライバー不足が深刻化している。町民アンケートではライドシェアの利用意向が一定程度あり、ドライバー活動の意向がある町民も確認されている。ライドシェアについての町の考えを伺う。 (3) まちづくり（観光・商業・定住等）と、公共交通の連携が取れていないことから、来訪者アンケートでは「公共交通が充実すれば、町内の観光スポットをもっと巡れる」の回答が5割あった。中高生の意見としては「公共交通の充実が進学先の選択肢を広げる」が4割を占めていた。これらの結果をどのように考えるか伺う。	町 長
	2 これからの大井川流域観光について	(1) 町は大井川流域の観光地域づくりにおいて、島田市、大井川鐵道など大井川流域観光事業実行委員会を組織し、連携している。その事業内容について伺う。 (2) 大井川鐵道全線復旧後、本線～井川線アプトラインを基軸に大井川沿線を巻き込んでどのような観光を計画しているのか伺う。 (3) ユネスコエコパーク認定エリアを活用して誘客につなげているか伺う。 (4) ユネスコ無形文化遺産に登録された徳山の盆踊など地域の祭りを情報発信し、観光誘客に繋げてはどうか。	町 長

6月19日

発言順2番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	1 合併 20 年を迎え、町の当面の課題について伺う	(1) 町も人口減少対策を行っている中、現在の人口数を維持するのも大変だと思われるが、成果を問われたときに、現時点でのそれぞれの分野における課題を伺う。 (2) 主要産業の活性化を進めるにあたり、農林業・観光・商工業の中でそれぞれ分野の課題と対応を伺う。 (3) 人づくりと言われて久しいが、町も人材育成への投資を続行している中で、人材は育っているのか、具体的な成果を伺う。 (4) 急激な物価高が続いているが、町民生活にどのような影響が出ているのか、調査・対策が不可欠と考える、町の考えを伺う。 (5) 米国の相互関税は、町の自動車部品製造業・農産物（茶）輸出等で、今後の成り行き次第で町民の生活への影響が心配される。町はどのように思い、今後の見通しを含め、対策等があるのか考えを伺う。 (6) その時の国の施策にもよるが、現時点での高齢者・障がい者等に対する医療・介護福祉サービス等の充実を推進するあたり、支援等に課題があるのかを伺う。その対応策もお聞きする。 (7) 青部駅周辺の造成における現在の状況と課題、町としての利用目的をはっきり示す時期に来ていると思われるが、その点の考えを伺う。	町 長

6月19日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	1 介護保険事業について	介護事業所が、国の報酬単価引き下げで、全国的に倒産・休廃業が相次いでいる。年をとっても安心して暮らし続けられる町づくりに向けて必要なときにいつでも利用できる介護保険制度とするために以下伺う。 (1) 国の訪問介護報酬削減による当町の事業所の運営状況について。 (2) 要介護認定者のサービス利用状況について。 (3) 訪問介護の移動に係る交通費等について補助する考えはないか。 (4) 国に対し介護従事者の待遇改善と訪問介護の報酬単価引き下げの撤回と国庫補助の引き上げを求める考えはないか。	町 長
	2 工事請負契約のあり方について	(1) 異常な高落札率が続いているが、適正で公正な入札が行われているか伺う。 (2) 入札予定価格の積算は資材や労務費の単価など実態に合った適正なものと考えているか。	
	3 大井川鐵道の復旧について	第4回あり方検討会で合意された大鐵への追加支援も含めた当町の負担額4億円について。 (1) 新たな災害等で、既定の負担割合を超える追加支援を求められることはないか。 (2) 県と島田市は追加支援分を貸付に留めるのに対し、当町が補助金とする理由は何か。 (3) 追加支援分の補助金1, 8億円に見合う株の引き渡しを要求する考えはないか。 (4) 「4年後の復旧は待てない」という町民の声にどう応えるのか。	町 長

6月20日

発言順1番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 障がい者の生活の自立、就労支援について	(1) 第2次川根本町総合計画の障害福祉分野において挙げられている、障がいのある人に対する社会資源の不足、児童に対するサービス提供事業者が町内にいないという課題解消のため、今までにどのような取組を行い、今後どのような取組を行う考えであるのか。 (2) 町内の企業（常時40人以上雇用）、地方公共団体における障がい者の雇用率の現況はどのようなになっているのか、未達成の事業所等へはどのような指導・助言を行っているかを伺う。 (3) 就労継続支援B型事業所における利用者の工賃の状況と義務付けられている「工賃向上計画」の進捗状況（課題、今後の取組等を含め）を伺う。	町 長
	2 エコツーリズムの推進について	(1) エコツーリズムの推進に大きな役割を担ってきたエコティかわねが、本年度末をもって解散することが総会において決定した。観光振興に欠かせないエコツーリズムの推進を、今後町はどのように進めていく考えか。 (2) エコティかわねに代わる組織をどのように構築していく考えか。 (3) エコティかわねが今まで担ってきた人材育成に、今後どのようにして取り組んでいく考えであるか。	町 長
	3 町長の描くまちの将来像について	(1) 菌田町長のまちづくりにかける思い、考えを伺う。 (2) 住んでみたいまち、住み続けたいまち、誇りの持てるまちを如何にして築いていく考えであるか。 (3) 任期満了後も引き続き町の舵取り役を担っていく考えはあるか。	町 長

発言順 2 番

[illegible]

6月20日

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
澤西省司	1 公共施設の老朽化による解体費用に関する行政の取り組みについて	(1) 公共施設はいずれ老朽化していくことにより、解体の時期を迎えるが、現状として当町の対応はどのようなものか。 (2) 公共施設の解体工事ともなれば、数千万円程度かかるが、その時代の行政任せでは済まない問題になってきているのではないか。 (3) 公共施設の建設事務のように、解体に向けた解体事務も世代間における負担の標準化といった、仕組みを活用すべきではないか。 (4) 公共施設の老朽化に備え、解体費用としての積立ては、今後、建設時より始めるべきではないか。 (5) 公共施設の民間への売却等も問題がありそうでハードルは高い。民間事業者が将来の解体費用がネックで購入を断念した場合でも、契約次第で両者にメリットが生まれる方策を探るべきではないか。	町 長
	2 現存する公共施設の老朽化に対して、リノベーション・改修・建替え・解体などに対応するための特定目的基金の設置の必要性について	(1) 現状複数存在する公共施設の老朽化は、建設時期の違いの他、痛みの度合いも違うため、対応の時期や内容もさまざまです。公共施設全体を包括的に対応できるように特定目的基金を創設するべきではないか。 (2) 県外の一部の市においては、平成の頃より公共施設等総合管理基金や公共施設等再生整備基金などの名称で基金の積立てが始められている。内容は参考になるが市の規模は大きいため、川根本町の背丈に合う基金の模索は可能と思われるがいかがか。	町 長